



◆図書館だより◆

2019年7月20日 No325

なんだりかんだり



"NANDARI-KANDARI" means "Anything". In other words we call it "森羅万象".

日本大学第二学園図書館

◎はじめに

早いもので今日、第1学期の終業式を迎え、いよいよ明日から8月30日（金）まで、41日間の夏休みとなります。この間、林間学校、夏期講習、面談、クラブ活動や合宿等、予定が各自いっぱい詰まっていると思います。

1日24時間、41日間という日数は、皆さんに平等に存在します。どうか一日一日を有意義に過ごし、事故や怪我に遭うことなく、健康に十分注意して、充実した楽しい休暇にして欲しいと思います。

さて、過日6月17日（月）午後3時頃に、学園理事長の小関勇先生が72歳でご逝去されました。この紙面をお借り致しまして、改めて先生のご冥福をお祈り申し上げます。このような時です。これからも生徒の皆さん一人一人を初め、全教職員を挙げて、この学園を盛りたてるべく、お互いに元気を出して、頑張ってください！！

またひとつ巨星流るる雨蛙[耕]

🐸そうさんの独り言🐸

小関先生は日大二高の第17回の卒業で、皆さんの先輩になります。2017年に理事長に就任される前は、永年、日本大学商学部の学部長として手腕を発揮され、後年、二高の同窓会会長も務められました。先生とはご縁があり、旧図書館（学園創立40周年を記念して竣工、現在はプロムナードの一部）の館長をしていた高山裕二先生と、その後、学園創立90周年を記念して竣工された、現図書館の最初の館長をされた長島庫子先生（前中学校長）とは皆同級生で、友人としても仲の良い間柄でした。かく言う私も、先輩方の11年後輩で、同じ母校の図書館でお仕事をさせていただき、不思議な感じがします。小関先生は常々「何かあったら何でもすぐに言って来いよ」と気に掛けてくださって、とても優しい心の温かい先輩でした。入・退校時に銅像前で必ずお辞儀をする姿が印象的でした。

※ この紙面は学園のホームページからもご覧いただけます。<http://www.nichidai2.ac.jp/>

—図書館とわたしたち—

＝ゆっくり本を読む＝

人によっては、すごい速さで本を読めて、その内容までしっかりと把握出来てしまう人がいます。しかし、そのような人はほんのわずかで、大多数の人は何かをしながら、時間の合間を見つけては、読書をしているのではないかと思います。

本のページ数や文字の数、またその本の内容にもよりますが、皆さんは、1冊の本を読むのに、どのくらいの時間がかかりますか？

読書は「思索（筋道を立てて考えをめぐらすこと）の手段である」と言われます。これは、文字を通じてその意味を自分で良く考えるということです。また、人によっては行間を読む場合もあります。考える時間には、もちろん個人差があると思います。

これから始まる長期休暇を利用して、時にはゆったりした気分で、くつろいだ雰囲気の中で、思索の読書をしてみてはいかがでしょうか？

案外と問題解決の糸口が見付かったり、その後の作業の効率が上がったことがあるものです。眠くなったら、そのまま寝ても構いません。夢中になって読むのも読書のスタイルの一つですが、たまにはゆっくりと楽しく、時間をかけて本を読んでみませんか？

図書館から

○夏休み中の図書館の開館日と図書の貸出し・返却については、先月配布の『なんだりかんだり6月号』をご覧ください。図書館入口付近に掲示してある案内をご覧ください。詳細が書かれています。

○現在、図書の貸出しを受けている人で、返却日を過ぎている人は、速やかに返却してください。次に利用を待っている場合があります。

○なお、返却の延滞がある場合は、その本を返却してからでないと、次の本の貸出しは出来ませんので、注意してください。

○図書の貸出しには、生徒証（身分証明書）のカードが必要です。